

継続事業評価シート

評価確定日 令和元年 6月20日

平成30年度(2年目)

事業コード	13	事業名	役員による加入促進			戦略コード	3	戦略名	事業者が主役の商工会		
商工会名	湖東3町商工会	担当者名	米谷 淳	総轄者名	菊地 功	施策コード	5	施策名	役職員一体となった会員加入促進運動の展開		

【事業内容】

1. 事業実施当初の背景

本商工会は合併後の10年間で役30%会員数が減少しました。この現象を食い止めるため、計画的な会員加入促進を実施し、会員数の増強・維持を目指します。

2. 事業のねらい

会員が増加することで、業種ごとの部会活動等が活発となり、地域の枠を超えた交流が図られ、新たなビジネスチャンスが創出されるほか、積極的に地域活動への参加・提言が促進され、地域全体の活性化に繋がり、地域経済の好循環の実現を目指します。

3. これまでの評価結果

過年度	H29	-	H30		H31		H32
-----	-----	---	-----	--	-----	--	-----

当該事業は平成30年度より実施につき、平成29年度は未実施。

4. 昨年度の評価(対応方針)に対する対応

当該事業は平成30年度より実施につき、平成29年度は未実施。

5. 事業内容と実績 達成度:a(事業を完遂した)、b(事業に着手したが未遂行)、c(事業に着手しなかった)

事業内容	実績	達成度
役員による加入促進について、総務委員会への付託事項とし、3回の会議を開催し実施にむけた促進モデルの検討を行った。	第1回(8名出席)総務委員会でAPIに基づく検討事項の確認。 第2回(6名出席)ガイドライン及び未加入者リスト提示による加入促進モデルの検討 第3回(5名出席)未加入者リストの整備。意見交換。	c

項目	役員による新規会員加入数					項目						項目					
年度	H29	H30	H31	H32	H33	年度	H29	H30	H31	H32	H33	年度	H29	H30	H31	H32	H33
目標	-	35件	35件	35件	35件	目標						目標					
実績	-	0件				実績						実績					
達成率	-	0%				達成率						達成率					
達成度	c	c				達成度						達成度					

【事業評価】

1. 3つの観点からの評価

【必要性の観点】 現状の課題に照らした妥当性 現状の課題に a(対応している) b(一部対応している) c(対応していない)	a
--	---

〈評価の理由〉

会員の減少は、組織の弱体化に繋がり、延いては商工業の衰退と悪循環となることから、組織の推進力を加速させ、地域を活性化する為にも必要性の観点から、加入促進の有効性は極めて高い事業である。

【有効性の観点】 事業目標の達成状況 事業内容・評価指標の実績の達成度が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(いずれかがc判定の場合)	c
--	---

〈事業の目標は達成されているかどうか〉

総務委員会において3回の会議を開催し、未加入者台帳の整備を行ったが、推進体制の構築までとは至らず、役員会へ提言出来なかった。このことから、役職員一体となった加入促進の実績は達成されていない。

【効率性の観点】 コスト(金銭・時間・人材)縮減のための取組状況 コスト縮減の取組は a(客観的で効果が高い) b(取り組んでいる) c(取り組んでいない)	c
--	---

〈コスト縮減に向けた具体的な取組内容または取り組んでいない理由〉

実績の結果から、会議開催による時間・人材・それに伴う人件費の観点から判断して、コスト縮減に対する取り組みは、「取り組んでいない」と判断せざるを得ない。

2. 総合評価・理由 A(順調)3つの観点の評価結果がすべてa判定の場合 B(概ね順調)A、C以外の場合 C(見直しが必要)3つの観点の評価結果がc判定2つ以上の場合	C
---	---

役職員一体となった(役員と協働による)加入促進による新規会員加入の実績はなかったことから、早期に、促進対象と成り得る未加入者名簿の整備を図ると共に、加入促進体制の整備を図り、実施しなければならない。

3. 課題

総務委員会においての協議では、事務所統廃合を含む組織体制のあり方についても協議しており、年間3回の協議において進捗が芳しくなかった。

4. 今後の対応方針(改善点)

監事からの意見として、アクションプログラムの実現に向けては、総務委員での協議するよりは、若手をいれたプロジェクトで進めた方が良いのではないかと意見がある。このことも含め、実効性かつ、効果的な促進運動の展開方法について煮詰める必要がある。